

周防大島で新規就農

9月11日、大島庁舎において新規就農者の青年就農給付金経営開始計画承認式が行われました。



▲式に出席された新規就農者の皆さん

町では農業従事者の高齢化が進む中、新たな担い手の育成に努めており、国の交付金を財源に新規就農者に対して、農業を始めてから経営が安定するまでの最長5年間、年間150万円を給付します。今回の給付対象者8名は次の皆さんです。

小林香さん（柑橘）、神田勉さん（肉用牛繁殖経営）、山形岳史さん（ブドウ＋ブルーベリー）、角井雅之さん（柑橘＋花木）、辻鼻俊介さん（柑橘＋花木）、斉藤彩乃さん（柑橘＋野菜）、内田健太郎さん（養蜂＋柑橘）、小柳貴史さん（柑橘＋花木）

体験型観光を推進します

秋の修学旅行受入れに向け、9月7日・8日の2日間、民泊研修会が開催されました。体験型観光の第一人者である藤澤安良先生を講師にお招きし、1日目は漁業体験の実践研修、2日目は「ほんものの体験が必要な時代」と題した講演会と、民泊を受け入れるにあたっての心構えや、安全衛生などの研修が行われました。

今年度は4月～9月にかけて、14校1994人が体験型修学旅行等で周防大島町を訪れましたが、10月～12月にかけて10校約2260人が訪れる予定です。



▶講演会の様子

中高一貫教育だより

⑬

周防大島高等学校 オープンキャンパス

周防大島高校の教育についての適切な情報提供を行うとともに、体験講座を通して、本校への興味関心を高めてもらうことを目的として、8月7日に普通科が安下庄校舎で、また、8月23日に福祉科が久賀校舎で、それぞれオープンキャンパスを開催しました。137名の中学生をはじめ多くの保護者・中学校の先生方が参加してくれました。

体験講座の後は、運動部や文化部の活動を見学しました。中学生にとっては、高校での生活のイメージがより具体的なものになったことと思います。

ボランティア活動

○町内の各地域で24時間テレビのチャリティ募金を行い、多くの中高生が参加し、活動を大いに盛り上げました。

○東和・橘地区で開催された「夏休み宿題をやっつけろ大作戦！」では、高校生が地域の小学生に楽しく勉強のアドバイスをしました。

○「福島の子どもたち夏休みキャンプIN周防大島」では、高校生がボランティアスタッフとして、一緒に遊んだり、自由研究の手伝いをしたりしました。

イングリッシュ・キャンプ

8月20日から22日まで2泊3日の日程で、橘ウインドパークを会場にイングリッシュ・キャンプを実施しました。連携中学校と周防大島高校の生徒あわせて26名が、県内の外国語指導助手（ALT）10名とともに、様々なプログラムに取り組みました。ゲームやスピーチ、スポーツを通して英語を話し、周防大島にいながら英語・異文化の世界を堪能した3日間でした。

＜体験講座の様子＞



▶数学



▶福祉



◆問い合わせ 周防大島高等学校
☎0820 (77) 1048